

タイトル「2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)」、フォルダ「スポーツ科学部」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3603		
科目名	競技スポーツ方法実習Ⅲ		
担当教員	森長 正樹		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 4		
講義室	1502	単位区分	選
授業形態	実習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP4-F (探究力・課題解決力) 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP2-A (日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。</p> <p>DP4-I (理解力・分析力) 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンスルーブリック (C R) との関連 F1 探求と論拠 (35%) F2 課題解決 (35%) A2 異文化適応 (10%) I2 量的分析 (10%) I3 情報分析 (10%)</p>		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	<p>競技スポーツ方法実習Ⅰ・Ⅱでの分析結果を踏まえ、促発能力分析をさらに充実したものとするために、促発能力分析報告書の再検討を行い、学習した内容をさらに深めていきます。これらの分析結果については、授業時間内での分析方法及び分析結果に関する反省的議論を通じて、自身の促発能力の向上に役立てることを目的とします。授業形態は、実習により行います。なお、授業を補充・代替するためオンライン授業 (オンデマンド型・ライブ配信型) を取り入れます。 ※授業の一部を補充するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合があります。</p> <p>■キーワード 促発能力・コーチング・運動感覚能力の活性化</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 指導者としての能力を、促発能力分析報告書の作成を通してさらに高めます。</p> <p>■授業の目的 本授業の目的は、競技スポーツ方法実習Ⅰ・Ⅱ同様に、コーチなどの指導者の立場で、どのように指導を行うことが学習者にとって効果があるかということを開発・促発能力分析の往復を通して (授業時間内での分析方法及び分析結果に関する反省的議論を通じて)、自身の促発能力をさらに向上させることです。</p> <p>■授業のポイント 授業では、学習者の運動感覚能力の向上させるために、促発能力 (「観察能力」・「交信能力」・「代行能力」・「処方能力」) を用いて、指導の実践を行います。実践後は、報告書を作成します。皆さんは、報告書をもとに発表と議論を重ね、各自の指導者としての能力を養います。</p>		
総合到達目標	<p>■それぞれが持つ「コツ」や「カン」を言語化し学習者に伝える能力を養うために、さまざまな運動課題を運動学の観点で洞察し、コーチとして教える能力を取得する。</p> <p>・スポーツ実践活動で求められる創発能力と促発能力とは何か、具体例を挙げて説明することができる。(第3回、第6回、第9回、第12回)</p> <p>・局面構造について、具体例を挙げて説明することができる。(第4回、第7回、第10回、第13回)</p> <p>・これまで学んだ「観察能力」「交信能力」「代行能力」の3つの能力を実践を通してさら向上させ、学習者の運動感覚能力を向上させられる処方「処方能力」を作成できる。(第5回、第8回、第11回、第14回)</p>		
成績評価方法	<p>(成績評価手段) 促発能力分析報告書 4回 発表 4回 レポート 5回 ※授業の進行具合により変更する場合があります。</p> <p>■促発能力分析報告書 (30%) 適応ルーブリック F1、F2 (評価の観点) 局面構造および創発・促発能力に基づいて分析し、報告書が作成できるかで評価します。 (フィードバック) 提出後に講評を行います。</p> <p>■発表 (30%) 適応ルーブリック A2 (評価の観点) 発表シートを基に、映像を含めた発表ができるかで評価します。 (フィードバック) 発表後、講評を行います。</p> <p>■レポート (40%) 適応ルーブリック I2、I3 (評価の観点) 設問に対して適切に回答しているかを評価します。また回答の量 (80%以上) と質 (論理的) についても評価</p>		

	<p>します。 (フィードバック) 提出後、後日個別に対応します。</p>	
履修条件	競技スポーツ方法実習 I (SSCS2305) ・ II (SSCS2306) を履修していることが望ましいです。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明をおこなう。また授業の概要やその方法を学ぶ。(F1、A2) ③予習(60分) シラバスの内容を一読する。 ④復習(60分) 競技スポーツ方法実習 I ・ II の創発能力分析報告書を見直す。
	2	①授業テーマ これまでの振り返りと分析方法と発表方法について ②授業概要 競技スポーツ方法実習 I ・ II で学んだ、指導者に求められる能力である促発能力の「観察能力」「交信能力」「代行能力」「処方能力」および局面構造の「準備局面」「主要局面」「終末局面」について振り返り、理解を深める。(F1、I3) ③予習(60分) 競技スポーツ方法実習 I ・ II で作成した創発能力分析報告書を見直す。 ④復習(60分) 授業シートを見直し、必要なら加筆修正をおこなう。
	3	①授業テーマ 指導実践① ②授業概要 指導者に求められる能力である促発能力と局面構造について、実習を通して理解を深める。(F2、I2、I3) 担当者の実務経験を踏まえて、指導の進め方や指導観点についてアドバイスをします。 ③予習(60分) 授業であつかう語彙や概念について調べる。 ④復習(60分) 実習の内容をまとめ、資料作成のために整理する。
	4	①授業テーマ 指導実践①の振り返り ②授業概要 前回実施した実習内容を「促発能力分析報告書」に記入していく。さらにその報告書を基に発表資料を作成する。(F2、I2、I3) ③予習(60分) 前回の実習中に作成した授業シートを見直す。 ④復習(60分) 発表資料の加筆修正をおこなう。
	5	①授業テーマ 指導実践①の発表 ②授業概要 前回作成した資料を発表し、内容について議論する。議論した内容は、まとめレポートとして仕上げる。(F1、A2) ③予習(60分) 発表資料の準備する。 ④復習(60分) これまでのおこなった実習、資料、議論の内容を整理する。
	6	①授業テーマ 指導実践② ②授業概要 指導者に求められる能力である促発能力と局面構造について、実習を通して理解を深める。(F2、I2、I3) 担当者の実務経験を踏まえて、指導の進め方や指導観点についてアドバイスをします。 ③予習(60分) 授業であつかう語彙や概念について調べる。 ④復習(60分) 実習の内容をまとめ、資料作成のために整理する。
	7	①授業テーマ 指導実践②の振り返り ②授業概要 前回実施した実習内容を「促発能力分析報告書」に記入していく。さらにその報告書を基に発表資料を作成する。(F2、I2、I3) ③予習(60分) 前回の実習中に作成した授業シートを見直す。 ④復習(60分) 発表資料の加筆修正をする。
	8	①授業テーマ 指導実践②の発表 ②授業概要 前回作成した資料を発表し、内容について議論する。議論した内容は、まとめレポートとして仕上げる。(F1、A2) ③予習(60分) 発表資料の準備する。 ④復習(60分) これまでのおこなった実習、資料、議論の内容を整理する。
	9	①授業テーマ 指導実践③ ②授業概要 指導者に求められる能力である促発能力と局面構造について、実習を通して理解を深める。(F2、I2、I3) 担当者の実務経験を踏まえて、指導の進め方や指導観点についてアドバイスをします。 ③予習(60分) 授業であつかう語彙や概念について調べる。 ④復習(60分) 実習の内容をまとめ、資料作成のために整理する。
	10	①授業テーマ 指導実践③の振り返り ②授業概要 前回実施した実習内容を「促発能力分析報告書」に記入していく。さらにその報告書を基に発表資料を作成する。(F2、I2、I3) ③予習(60分) 前回の実習中に作成した授業シートを見直す。 ④復習(60分) 発表資料の加筆修正をする。
	11	①授業テーマ 指導実践③の発表 ②授業概要 前回作成した資料を発表し、内容について議論する。議論した内容は、まとめレポートとして仕上げる。(F1、A2) ③予習(60分) 発表資料の準備する。 ④復習(60分) これまでのおこなった実習、資料、議論の内容を整理する。
	12	①授業テーマ 指導実践④ ②授業概要 指導者に求められる能力である促発能力と局面構造について、実習を通して理解を深める。(F2、I2、I3) 担当者の実務経験を踏まえて、指導の進め方や指導観点についてアドバイスをします。 ③予習(60分) 授業であつかう語彙や概念について調べる。 ④復習(60分) 実習の内容をまとめ、資料作成のために整理する。
13	①授業テーマ 指導実践④の振り返り ②授業概要 前回実施した実習内容を「促発能力分析報告書」に記入していく。さらにその報告書を基に発表資料を作成する。(F2、I2、I3)	

	<p>③予習 (60分) 前回の実習中に作成した授業シートを見直す。</p> <p>④復習 (60分) 発表資料の加筆修正をする。</p>
14	<p>①授業テーマ 指導実践④の発表</p> <p>②授業概要 前回作成した資料を発表し、内容について議論する。議論した内容は、まとめレポートとして仕上げる。(F1、A2)</p> <p>③予習 (60分) 発表資料の準備する。</p> <p>④復習 (60分) これまでのおこなった実習、資料、議論の内容を整理する。</p>
15	<p>①授業テーマ まとめ</p> <p>②授業概要 これまで学んできた講義内容を振り返り、まとめレポートを作成する。(F2、I2、I3)</p> <p>③予習 (60分) 作成した促発能力分析報告書を見直ししておく。</p> <p>④復習 (60分) 各回の授業概要や作成したシートやレポートについて、キーワードを添えて要約を作成する。</p>
関連科目	競技スポーツ方法実習 I・II・III・IV
教科書	特にありません。
参考書・参考URL	特にありません。
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先 必要な時に告知します。</p> <p>■オフィスアワー 木曜2限。それ以外の時間については、教員と予約日時を相談後、研究室で対応します。</p>
研究比率	

